

氏名	喜多島康一		
学位の種類	医学博士		
学位授与番号	甲第21号		
学位授与の日付	昭和35年3月31日		
学位授与の要件	医学研究科内科系内科学専攻 (学位規則第5条第1項該当)		
学位論文題目	脾臓の骨髓造血機能に及ぼす影響に関する実験的研究		
論文審査委員	教授 平木 潔	教授 小坂 淳夫	教授 妹尾左知丸

学位論文内容要旨

脾臓の骨髓造血機能に及ぼす影響に関しては、古来幾多の研究が繰返されて来たにも拘らず尚不明の点が数多く残されている。著者は本問題の究明にあたり、新に骨髓組織培養法を応用し、家兎及び海狸を実験動物として、剔脾、脾他家移植並びに脾エキス添加を行ない、骨髓に於ける赤血球系、白血球系並びに栓球系造血に及ぼす影響を動的に観察した。その結果三造血系共にその造血機能は、一般に剔脾により促進され、脾移植により抑制され、脾エキス添加により高濃度では抑制的、低濃度では却って促進的影響を受けると云う結果を得た。

斯くて脾臓はその正常機能の一つとして、何等かの体液性因子により、骨髓に於ける之等三造血系に対し何れもその造血機転の一部に直接働いて、主として抑制的に一部促進的に絶えず之を調節しており、之が所謂“Splenisism”なるものの要因をなすものと考えられる。

論文審査の結果の要旨

喜多島康一提出の「脾臓の骨髓造血機能に及ぼす影響に関する実験的研究」に関する学位論文につき審査した結果の要旨は次の通りである。

脾臓の骨髓造血機能に及ぼす影響に関しては、古来幾多の研究が繰返されて来たにも拘らず尚不明の点が数多く残されている。著者は本問題の究明にあたり、新に骨髓組織培養法を応用し、家兎及び海溟を実験動物として、剔脾、脾他家移植並びに脾エキス添加を行ない、骨髓に於ける赤血球系、白血球系並びに栓球系造血に及ぼす影響を動的に観察した。その結果三造血系共にその造血機能は、一般に剔脾により促進され、脾移植により抑制され、脾エキス添加により高濃度では抑制的、低濃度では却って促進的影響を受けると言う結果を得た。

斯くて脾臓はその正常機能の一つとして、何等かの体液性因子により、骨髓に於ける之等三造血系に対し何れもその造血機転の一部に直接働いて、主として抑制的に、一部促進的に絶えず之を調節しており、之が所謂“Splensism”なるものの要因をなすものと考えられる。

以上の通り本論文は新しい知見に富み、学術上有益であり、著者は医学博士の学位を授与せらるべき学力を有すると認める。